

### 宮崎医療センター病院

**高血圧診療の最前線**  
生活習慣病センター 内科副部長 齊田 光彦

早いもので当院に赴任して7年目になりました。私は高血圧や腎疾患を専門としておりますので、今回は知ってるようで意外と落とし穴のある高血圧症の正確な診断と治療に役立つ最先端の取り組みについて紹介いたします。

我が国の高血圧有病者数は約4千3百万人と試算され、日本の人口を1億2千万人とするに3人に1人が高血圧患者ということになります。これはあらゆる病気の中でも断然に高頻度であり、脳卒中や虚血性心疾患が死因の上位にくる大きな理由と言えます。1番の問題は、高血圧が脳心血管障害など生命を脅かす疾病の根源にもかかわらず、無症状で未測定のため高血圧に気付かない人が多数存在することです。

健診の普及により「持続性高血圧」は見つかるようになりましたが、外来診察時は正常なのに自宅では高い「仮面高血圧」と在宅中は異常ないが病院へ来ると高くなる「白衣高血圧」は、家で血圧を測定しなければ簡単に見逃されてしまいます。仮面高血圧は心血管死・脳卒中発症リスクが持続性高血圧とほぼ同等であり、白衣高血圧も持続性高血圧に移行する割合が高いこと、国内外の大規模臨床試験の結果から家庭血圧は診察室血圧より脳心血管発症や死亡リスクの予測能に優れることが報告され、高

# 四季

題字 理事長自筆  
秋号

平成27年10月27日 発行



宮崎医療センター病院  
宮崎市高松町2-16  
TEL:0985-26-2800  
FAX:0985-27-6811

## 敬老会開催

9月15日にC館7階ホールにて、入院患者様及びご家族の方々、通所リハビリ利用者様を対象に敬老会が開催されました。

今年には先に立ち、病院で今年八十歳を迎えられた方に宮崎市長から、そして今年百歳を迎えられた方には宮崎県知事と内閣総理大臣から祝状と祝品が贈呈されました。おめでとうございます。

その後は毎年恒例の出し物の時間。まず「ちどり保育園」の園児による歌とダンスが披露されました。子どもたちの元気いっぱいな様子に患者様たちにも自然と笑顔があられていました。次はビュートイフルフラダンス様によるフラダンスとひよつとこ踊り。フラダンスは患者様も一緒に踊って踊る場面もあり、和やかな時間が流れていました。途中で乱入したひよつとこも、キレのある？踊りで会場を沸かせていました。出し物披露をして下さった2団体様、ありがとうございました。

来年も同時期に開催予定です。多くの方のご参加をお待ちしております。



「園児たちのダンスの様子」  
渉外企画課 日高

## 研修会

メンタルヘルス研修  
去る7月29日、介護労働安定センターの藤本洋子氏を講師に招き、メンタルヘルス研修会を行いました。今回の研修会ではストレスとの向き合い方について学びました。ストレスと上手向き合い、今後の業務を行っていく上で、参考にしていくしたいと思います。

渉外企画課 井上



## 接遇マナー研修会

去る8月26日、キャリアコンサルタントの谷口真紀氏を講師に招き、接遇マナー研修会を行いました。研修会は、6月に行った患者満足度調査の結果を基にした内容で、接遇に対する意識を直す良い機会になったのではないかと思います。

来年度の患者満足度調査に向けて接遇に対する意識を高めていきたいと思っております。

渉外企画課 井上

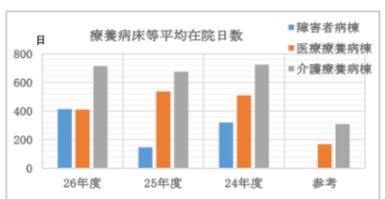
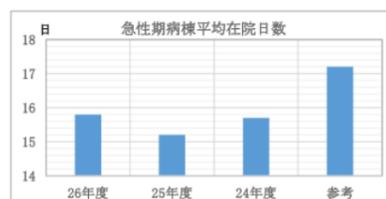
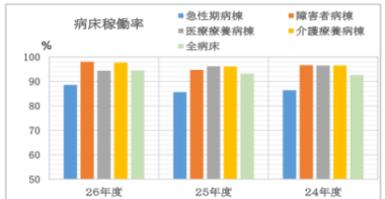
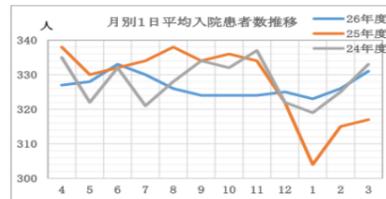


渉外企画課 井上

## 診療情報

**<診療評価指標>**

- ◆ 1日平均入院患者数  
平成26年度の1日平均入院患者数は327人(病床数:350床)であり、過去3年間の月別の1日平均入院患者数の推移は右図のとおりです。
- ◆ 病床稼働率  
平成26年度の病床稼働率は全病床平均94.5%で前年度に比べ約1ポイント上昇しました。過去3年間の病床別病床稼働率の比較は右図のとおりです。
- ◆ 平均在院日数  
平成26年度 急性期病床の平均在院日数は15.8日で全国平均(平成25年度)に比べ約1.4日短い。



## 理念

- 私たちは、自分が受けたい医療・看護・介護を提供します
- ### 基本方針
- ・患者さまの権利と尊厳を大切にし、心のこもった医療・看護・介護を提供します
  - ・根拠に基づいた説明のできる医療・看護・介護を実践します
  - ・全職種による安全で質の高いチーム医療を行います
  - ・急性期から在宅医療までを繋ぐ医療・看護・介護を提供します
  - ・地域連携に努め、地域包括ケアシステムの発展に貢献します
  - ・お互いを信頼し、やりがいと誇りを持つ職場にします

宮崎医療センター病院

## 患者様の権利

- ・患者様は、良質な医療サービスを平等に受ける権利があります
  - ・患者様は、人格・意思が尊重され、人間としての尊厳を守られる権利があります
  - ・患者様は、自分自身の診療に関する情報の提供を受ける権利があります。また、他の医療機関の医師の意見(セカンドオピニオン)を求める権利があります
  - ・患者様は、医療従事者から説明を受けた後に、提案された診療計画などを決定する権利があります
  - ・患者様は、プライバシーを尊重される権利があります
- 宮崎医療センター病院では、上記に基づき患者様の権利を尊重して医療を行っております。

宮崎医療センター病院

### ストレスチェック制度への取り組み

健康増進室 入佐 千保子

ストレスは誰しもが多かれ少なかれ自覚しているものです。ストレスを過度にためない、又、適度なストレスと上手に付き合っていくためには、自分のストレスに気付く事がポイントとなります。



今年十二月よりストレスチェックの実施が事業者の義務となります。この制度は職員のストレスの程度を把握し、職員自身のストレスへの気付きを促すとともに、職場改善につなげ、働きやすい職場作りを進めることにより、職員がメンタルヘルス不調となる事を未然に防止する一次予防を主な目的としたものです。ス

等、職員への配慮も重要に考えられた制度です。年に一回のストレスチェック実施に向けて準備を行っていますので、是非ご理解の上ご協力の程よろしくお願い致します。又、この制度を一緒に取り組む人員も募っています。ご興味のある方は一緒に活動してみませんか？併せてよろしくお願ひ致します。



### 病院機能評価更新審査

機能評価準備室 企画担当

東 信次

最近、病院機能評価という言葉をよく耳にされると思いますが、更新審査を控え、その概要について少しばかり説明したいと思います。

病院機能評価は公益財団法人日本医療機能評価機構が実施します。当該機構は中立的・科学的な第三者機関として医療の質の向上と信頼できる医療の確保に関する事業を行うため厚生労働省・日本医師会・日本病院会・日本看護協会・日本薬剤師会・健康保険組合連合会等様々な団体からの出捐により設立された公益財団法人です。

病院機能評価は、病院が組織的に医療を提供するための基本的な活動（機能）が、適切に実施されているかどうかを評価する仕組みで、評価調査官（サーベイヤー）が中立・公平な立場にたち、所定の評価項目に沿って病院の活動状況の評価します。審査の結果、一定の水準を満たしている認められた病院が「認定病院」として公開されます。9月10日現在の認定病院数は2257で全院数の26.6%となっています。

当院は、平成18年3月に初めて認定を受け、今回が3回目の更新となります。この間、評価内容が種々見直され、今回は病院の機能種別ごとに審査・認定する機能種別板3rd Ver.1.1.1を受審することになります。機能種別は、一般病棟1、一般病棟2、リハビリテーション病院、慢性期病院、精神科病院とありますが、当院は病床数が多い慢性期病院を主たる機能種別、消化器・肝臓病に関する専門性の高い病院として一般病棟2を副機能として審査を受けます。サーベイヤー4名が2日間来院し審査・確認を行います。今回の特徴は、従来の書類審査・面接調査・

部署訪問に加え特徴的な症例（1患者）の外から退院に至る症例トレース型のケアプロセス調査が実施され、サーベイヤーとチーム医療担当者が質疑応答することになります。当院は平成28年1月の予定で訪問審査を受審しますが、それに先立って院内の予備審査が10月13日午後（病棟概要確認及びケアプロセス調査）14日午後（書類確認）16日午後（部署等訪問審査）の予定で実施されます。

病院機能評価機構という第三者機関が医療関係法令・各種関連法規等への適合性や医療の質・安全性及び医療環境等の継続的改善等の観点から当院を評価し、一定以上の水準にある病院として認定することが地域や患者様の信頼を得ることになり、病院としての評価・地位向上及び病院で勤務する職員の誇りにつながっていくんだと思います。職員の皆さんは業務で忙しく大変だと思えますが、更新審査に向けて必要な準備ができるよう、宜しくお願ひします。

#### 機能評価セミナー

渉外企画課 井上 敦志

去る9月9日、(株)エム・アイ・フアンリテイズの吉留菊代氏を講師に招き、機能評価セミナーを開催しました。今回の審査の特徴である、トレース型ケアプロセス評価におけるサーベイヤーと担当者との対応等についてポイントを例示しながら詳しく説明され、参加した職員も納得のセミナーでした。今後、更新審査に向け、その準備に役立てていきたいものです。



### 「なすのソース漬汁」

《栄養科》  
管理栄養士 永吉 花絵



#### なすのソース漬汁

秋なすの美味しい季節です。

旬の食材は栄養満点ですので、毎日の食事には是非取り入れてみて下さい。

- ① なすを7mm×1cm幅にスライスし水につけてあく抜きをする
- ② 水分をよく切り、少し多めの油をひいたフライパンで炒める
- ③ よく火が通ったら、温かいうちにウスターソースの中に入れ、混ぜ合わせながら適度に味を染み込ませる
- ④ 皿に盛り付けて出来上がり！

#### 大葉とツナの新米おにぎり

新米の季節、美味しいお米を沢山食べて元気に過ごしましょう。

- ① 大葉を千切りにし、ツナ缶は油を切る
- ② ポウル等で大葉とツナをご飯と混ぜ合わせて、さらに醤油を合わせ、おにぎりを作れば完成！



### 〓 部署紹介

#### 《C456病棟》

病棟師長 川添 華寿美

C456病棟は病床定数60床・スタッフ47名で勤務しています。患者対看護者比率が常時7対1、及び看護補助者比率2.5対1の診療報酬上の基準を満たしている急性期一般病棟です。病棟が3フロアーにまたがっており困ることもありませんが、みんなで力を合わせて頑張っています。

病床の約8割を肝臓疾患が占め、内視鏡治療や経皮的治療、血管内治療等が行われています。また、炎症性腸疾患に対しては、ステロイド療法や生物学的製剤の投与、血球除去療法等が日々行われています。入退院を繰り返す患者様が多く、生活指導や薬剤指導を計画しながら患者様の声を聞きながら教育的看護を提供できるような心掛けています。

他職種との連携を行いながら患者様がより良く入院生活を送れるような環境の整備、個々の患者様に合った退院後の生活、環境の整備などを考えて今後とも看護の提供を行っていきたいと思います。



C456病棟スタッフ

#### 《栄養科》

科長 黒木 典子

栄養科は栄養士4名で栄養管理を行っています。今年4月から給食委託会社が当院のグループ会社メディコムへ変更となっています。

メディコムの方は栄養士3名で給食管理を行っています。調理スタッフ11名、洗浄スタッフ3名です。以前と比べ男性調理員が増え、毎日精力的に勤務して頂いています。4月上旬は不慣れな点もあり、ご迷惑をお掛けすることもあったと思います。稼動から5ヶ月、徐々に軌道に乗り、患者様からも美味しいというお声をたくさん頂くようになりました。今後とも栄養科・メディコム一同宜しくお願い致します。



メディコムスタッフと栄養科スタッフ



栄養科スタッフ